



山梨県人口減少危機対策パッケージについて

■策定のポイント

- 人口減少危機対策基礎調査(R5.9補正)等により得られた知見を踏まえ、課題群Ⅰ～Ⅲに整理
- R5年8月に公表した「暫定プラン」をベースに、基本的な取組の方向性及びライフステージごとの支援策を対策パッケージとして整理
 - 各部局の主要施策事業や、R6年度新規事業（当初予算・R6.6補正）等で新たにパッケージに位置づけた項目を赤字で追記(7ページ目)
 - R6年度以降も継続して取り組む項目は、そのまま黒字で記載
 - これまでの実施状況や、事業の効果検証等を踏まえ、R6年度以降実施しない項目は削除
 - ・「安心できる生活基盤の整備」・・・奨学金・住宅ローン等の負担軽減に向けた検討
 - ・「関係者との連携」・・・・・・・・・・県庁若手職員による専門部会の発足 など
 - R6年度に実施する主な事業内容(※主要施策・新規・予算規模等で判断)を8ページ目に整理

基礎調査（R5.9補）等で補充された知見・課題感



- 基礎調査により、県民意識に関する追加的な知見を獲得。ポイントは次のとおり。

経済要因調査【人口減少危機対策本部事務局】

- ◆ 家計のうち特に住居費への負担感が大きく、未婚者や既婚者がより良い居住環境への移行に踏み切れず結婚・出産・子育て行動を躊躇する傾向がある。
- ◆ 奨学金返済対象者は未婚者や若年層ほど返済中の割合が高く、奨学金返済の支援は仕事や就職先の選択・婚姻促進・出生率上昇へ寄与することが期待される。
- ◆ 経済要因以外では、結婚意思のある未婚者が結婚できない理由については「適当な相手に巡り合わない」が最上位。

住環境調査【県土整備部】

- ◆ 合計特殊出生率と1住宅あたりの居住室数との関係を見ると、正の相関関係がある（相関係数は0.27）
- ◆ 合計特殊出生率と住居に係る消費者物価地域差指数との関係を見ると、負の相関関係がある（相関係数は-0.46）
- ◆ 建設費高騰等により、新築住宅を購入した子育て世帯は、中古住宅を購入した子育て世帯に比べ、約2倍の経済負担を抱え、中古住宅より狭い住宅で子どもを育てている状況。

働き方改革等実態調査【多様性社会・人材活躍推進局】

- ◆ 男性の育児休業取得率は低く、その要因として「職場に迷惑をかけたくない」等の心理が働いている。
- ◆ 男性の育児参加推進策の企業における実施状況は「特に実施していない」との回答が6割超と取り組みが不足している状況である。
- ◆ 育児・子育て世代は他の年代よりも「生活の維持・収入」「育児・教育」に強い不安感を持っており、正規雇用労働者への転換希望が高い割合となっている。

結婚に対する県民意識調査【子育て支援局】

- ◆ 結婚意思のある未婚者の多くが「自然な出会い」を待っており、「友人・知人の紹介」や「勤務先や仕事の関係先での出会い」を希望する割合が高い。
- ◆ 未婚女性が望む婚活サービスは、婚活を前面に出さない取り組みや、結婚前提ではなくライトな出会いの場を望む傾向がある。

山梨県子ども計画策定に係るアンケート調査【子育て支援局】

- ◆ 「子育てのしやすさ」の観点から行政に望む支援策として、「経済的支援」「気軽に相談できる窓口」が多い。

県内職業系高校のキャリア追跡調査【教育委員会】

- ◆ 製造業、建設業及び卸売・小売業の分野における40歳時点の平均年収は、一般大学卒業者より県内職業系高校卒業者（農業・工業・商業）のほうが上回っていることがわかった。
- ◆ 職業系高校は、普通高校と比較して、専門教科の学びを通して、職業選択及び進路選択など明確なキャリアパスを形成できることがわかった。
- ◆ 職業系高校卒業者からは、学校での学びが現在の職務に役立っているとの声が多くあった。
- ◆ 製造業、建設業などの企業からは、即戦力や将来の管理職として期待されている声があった。

「人」へのアプローチ：ペルソナ分析

- 施策への顕在・潜在ニーズを明らかにするため、基礎調査で得られた県民意識に関する知見を生かしてペルソナ分析（※）を実施 ⇒ 人口減少対策の顧客の典型イメージとして次のとおり設定
- （※）ペルソナ分析：ターゲット顧客の具体的な人物像を設定するマーケティング手法。顧客視点に立った製品・サービスの企画や販促などを実現するために活用



Work

- ・山梨で働きたいかどうか迷っている
- ・地元企業のことがわからなくて不安
- ・どうせ働くなら、福利厚生がしっかりしていてえるほし認定企業が良いな

Money

- ・奨学金の返済があるから安定した収入が欲しい

Residence

- ・社会人になったら、ひとり暮らししたいな

Healthcare

- ・まだまだ若いから何の心配もなし！

Lifestyle

- ・今は結婚も、子どもも考えられないかな・・・

- 女性/21歳
- ・職業：大学生（就職活動中）
 - ・実家暮らし（両親と同居）
 - ・未婚・彼氏なし・結婚希望不明

A



Work

- ・20代はスキルアップ優先で
- ・毎日が忙しい・・・

Money

- ・結婚資金を貯めているけど・・・

Lover

- ・彼女はいるけど、時間もお金もない
- ・結婚はまだ先かな・・・

Residence

- ・結婚したら広くてきれいな賃貸に住み替えたいな

Healthcare

- ・不妊検査って男性も受けたほうが良いのかな・・・

Lifestyle

- ・子どもはできたら2人、30代前半でできたらいいな

- 男性/29歳
- ・職業：会社員
 - ・1人暮らし（アパート）
 - ・未婚・彼女あり・結婚希望あり

B



Work

- ・このまま非正規では不安
- ・転職や資格取得を検討

Money

- ・貯金したいけど、押し活でお金が消えていく

Lover

- ・恋人がほしいけど出会いがない
- ・婚活イベントはちょっとハードルが・・・

Residence

- ・一人暮らししたい

Healthcare

- ・将来のことを考えて、今のうちに卵子凍結とか考えても良いのかな・・・

Lifestyle

- ・押し活やSNSなどを見ている時が幸せ
- ・ソロ活も楽しんで、自分への投資優先

- 女性/30歳
- ・職業：非正規雇用
 - ・実家暮らし
 - ・未婚・彼氏なし・結婚希望あり

C



Work

- ・妻は育児休業中で仕事復帰するか、このまま育児休業を継続するか悩み中
- ・夫の育児休業の取得は、職場に迷惑がかかるから・・・

Money

- ・今後のことを考えると、子どもの教育費心配

Healthcare

- ・子宮がん検診で要検査！心配・・・

Residence

- ・マイホームをそろそろ考えよかな
- ・今のアパートだと狭い・・・

- 男性36歳 女性/34歳
- ・職業：会社員（共働き）
 - ・3人暮らし（アパート）
 - ・2人目希望あり

Lifestyle

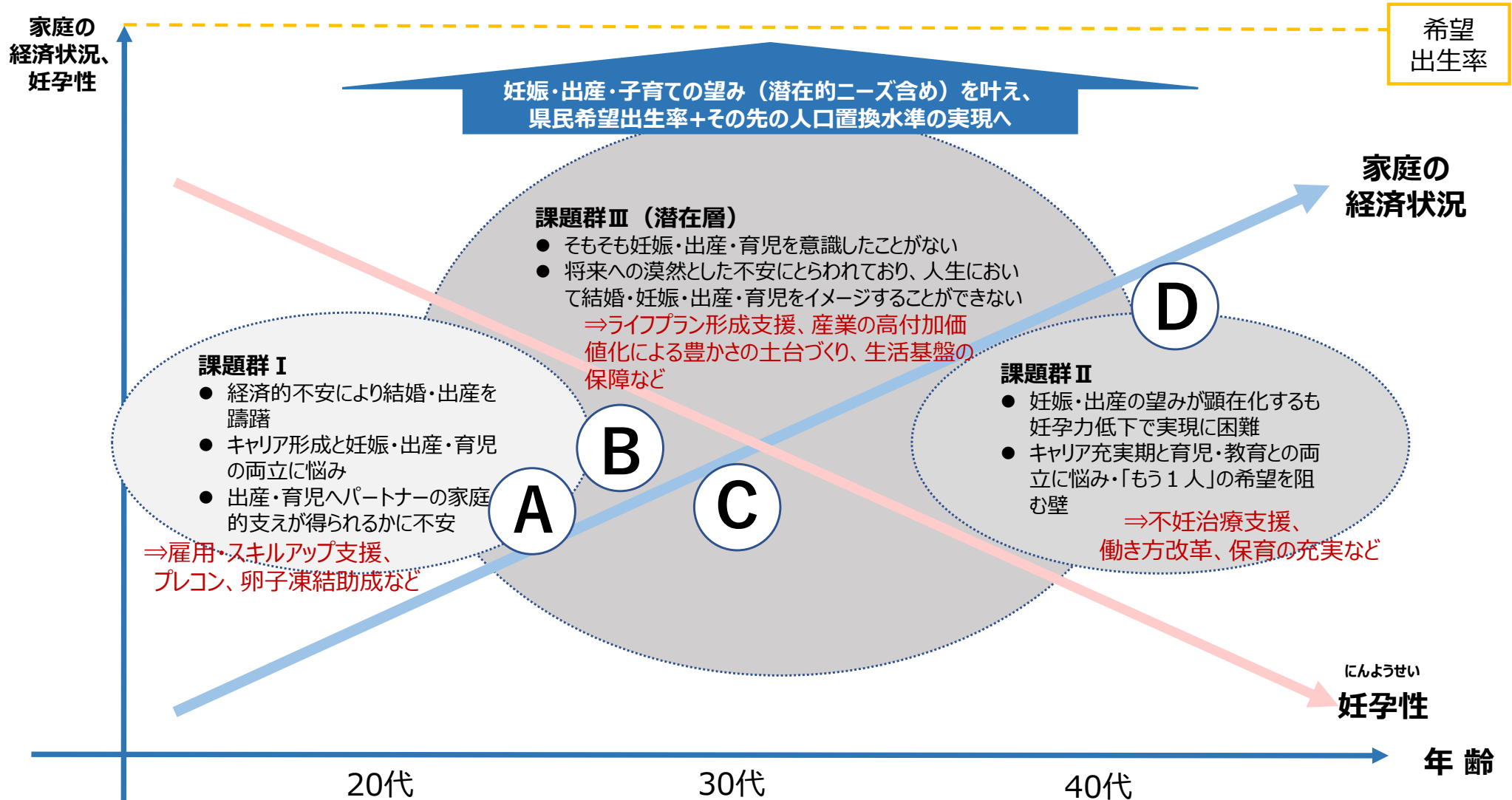
- ・子どもはできたら3人欲しいな、経済的負担が・・・

D

「人」へのアプローチ（課題分析のフレームと課題群）



- 「年齢」と「家庭の経済状況」「^{にんようせい}妊孕性^(※)」との関係に着目して課題群を整理 ※^{にんようせい}妊孕性：妊娠のしやすさ



➤ 上記にとどまらず、「地域」へのアプローチに基づく課題分析を加味（例：住環境・雇用・土地利用など）。これらの課題については、地域力向上調査研究事業（山崎参与PJ関連）や地域ワークショップのなかで得られた知見を活かして、「人口ビジョン2.0」策定過程において整理

- 県民が抱える課題を起点として施策事業の体系化を図り、県民理解の獲得・増進をうながす

課題群Ⅰ

I. 家庭や子を持つ希望に「よりそう」視点

【施策の対象】

- 人生において、将来の結婚や妊娠・出産は視野に入れつつも、経済的な不安や、健康面での心配、就職後のキャリアアップを優先したい気持ちなどから、行動に移すことをためらう層（主に20代）
- こうした心配事に行政が寄り添い「背中を押す」ことで、希望の実現に向けたアクションの具体化につなげたい。

【方向性】

- 雇用やスキルアップへの支援、プレコン推進・卵子凍結助成 など

課題群Ⅱ

II. 子育ての希望を「かなえる」視点

【施策の対象】

- 妊娠・出産（第2子以降を含む）を明確に希望しつつも、加齢による妊孕力低下への悩み、充実期に差しかった自らのキャリアと子育ての両立への不安などから、確信をもった行動をとれずにいる層（主に30代）
- こうした障壁を取り除き、希望の実現に向けたアクションの増進につなげたい。

【方向性】

- 不妊治療への支援、働き方改革や「男性の家事・育児参画」の促進、保育の充実 など

課題群Ⅲ

III. 家庭や子を持つ希望を「はぐくむ」視点

【施策の対象】

- 将来の結婚や妊娠・出産・子育てに対し、現時点では関心を持たずにいるが、環境や条件を整えば意識が変わり行動をとる可能性のある潜在層（10代～30代）
- ライフイベントへの関心と呼び覚ますフックや、漠然とした経済的不安の解消など前提条件の整備により、希望を持ち前向きに実現しようとするマインドセットに導きたい。

【方向性】

- ライフプラン作成支援、生活基盤の保障や各種産業の高付加価値化 など

「人」へのアプローチ（課題分析のフレームと課題群）

- R6当初予算（※青文字）、R6.6補正事業（※赤文字）をプロット

希望
出生率

妊娠・出産・子育ての望み（潜在的ニーズ含め）を叶え、
県民希望出生率+その先の人口置換水準の実現へ

課題群Ⅲ（潜在層）
⇒ 対策の柱Ⅲ

● 少人数教育推進

課題群Ⅰ
⇒ 対策の柱Ⅰ

● プレコンセプションケアの推進

● 奨学金返還支援

● スタートアップとの共創

● 非正規雇用の正規雇用化

● 成長産業の振興

● 卵子凍結への助成

● 女性活躍推進

● DXの推進

● ライフプラン相談窓口の設置

● 住環境の整備

課題群Ⅱ
⇒ 対策の柱Ⅱ

● 病児・病後児保育の推進

● 私立高等学校等授業料実質無償化

● 介護待機者ゼロ社会

● 男性育児休業取得促進

● 医療的ケア児等支援

20代

30代

40代

将来
の希望

仕事

結婚

妊娠
出産

子育て

若者の自己実現
への支援

自分らしく働ける、
魅力ある職場環境の整備

結婚の希望を叶える
支援の充実

安心して子どもを妊娠・
出産できる環境の整備

子育て負担軽減への
多面的支援

山梨県 人口減少危機対策パッケージ

～それぞれのライフステージにおいて、切れ目のない支援を実現～



⑤ 子育て負担軽減への多面的支援

- **子育てに関する経済的負担の軽減**
 - ・多子世帯に係る私立高等学校等の授業料の実質無償化
 - ・子どもの医療費無料化の促進
- **学童保育（放課後児童クラブ）の充実**
- **子どもの貧困対策・ひとり親家庭への支援**
 - ・生活困窮世帯への学習支援
 - ・家庭環境の違いにより生じる体験格差の解消
- **保育サービス等の充実と質の向上**
 - ・保育料無償化の促進
 - ・保育士の加配、働き方改革
 - ・病児・病後児保育の推進
 - ・医療的ケア児への支援
 - ・障害児施設の整備への支援
- **子育てで離職した女性の再就職支援**
- **国際保育の体制整備**
- **「新たな姿の待機児童ゼロ」の推進**
- **「介護待機者ゼロ社会」の実現**
 - ・「介護福祉総合支援センター」設置
 - ・介護施設等の基盤整備への支援
- **男性育児休業の取得促進**

④ 安心して子どもを妊娠・出産できる環境の整備

- **母子への切れ目のない支援**
 - ・妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援
 - ・産前産後ケアの推進
 - ・一時預かり等の利用促進
 - ・県の託児所機能の拡充
- **妊娠・出産に関する経済的負担の軽減**
 - ・不妊治療（先進医療）への助成
 - ・出産・子育て応援給付金
- **産科・小児科等医療体制の強化**
 - ・周産期医療体制・小児救急医療体制充実
 - ・医療従事者の育成・働き方改革
 - ・先天性代謝異常検査
- **良質で安価な住宅の取得促進**

取組の推進体制

オールやまなしで推進する体制の基盤整備

- 人口減少対策に向けた関係者との連携
- 人口減少対策関係施策の効果検証
- 人口減少対策の取組を行う市町村への支援
- 当事者目線による政策立案の仕組みを創設

取組の方向性

対策の柱Ⅰ. 家庭や子を持つ希望に「よりそう」視点

- 安定した雇用の確保 ②
- 働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上（スリーアップの促進） ②
- 教育の充実 ①
- 若者の社会的自立への支援 ①
- 女性の希望に添ったキャリア形成への支援 ②
- 非正規雇用者の正規雇用化 ②

対策の柱Ⅱ. 子育ての希望を「かなえる」視点

- 子育て世代に対する経済的支援 ⑤
- 保育の充実 ⑤
- 良質で安価な住環境の整備 ④
- 働き方改革の推進 ②
- 男性の主体的な家事・育児参加 ⑤

対策の柱Ⅲ. 家庭や子を持つ希望を「はぐくむ」視点

- デジタルの恩恵を誰もが受けられる社会の実現 ②
- 性差・社会的役割に対するアンコンシャスバイアスの解消 ①
- 若者のライフプラン形成への支援 ③
- ケアラーへの支援 ①、⑤

③ 結婚の希望を叶える支援の充実

- **未婚化・晩婚化に対する取組**
 - ・ライフプラン相談窓口の設置
 - ・結婚や妊娠・出産などに関するライフデザインの若年層への啓発
 - ・出会いの機会創出

① 若者の自己実現への支援

- **少人数教育の更なる推進**
 - ・小学校4年生への25人学級の導入拡大
- **いじめ・不登校対策**
- **I C T活用環境の整備**
- **P B L（課題解決型学習）の実施**
- **社会的自立への支援**
 - ・将来の具体的なキャリアビジョンを描くためのライフプラン形成支援
 - ・希望に沿った就労支援
 - ・新たな奨学金返還支援の実施
- **将来に希望を持てる環境づくり**
 - ・キャリア教育の充実等による自己肯定感の向上
 - ・社会に触れる機会の創出
 - ・ヤングケアラーへの支援
- **高度な教育を受ける機会の確保**
 - ・技術系人材育成機関設置に向けた検討
- **将来の妊娠に備えた健康づくり**
 - ・プレコンセプションケアの推進

② 自分らしく働ける、魅力ある職場環境の整備

- **産業の安定した発展への支援**
 - ・成長産業の振興、企業誘致の促進
 - ・担い手確保に向けた魅力発信
- **生産性向上に伴う就労環境の改善**
 - ・社会人・求職者に対するリスクリングの機会提供
- **成長段階のスタートアップ企業への支援**
 - ・県内企業とスタートアップ企業との共創
- **希望に応じたキャリア形成の実現**
 - ・女性管理職の登用促進
 - ・卵子凍結への助成
- **非正規雇用の正規雇用化に向けた取組**
 - ・正規雇用化に必要なスキルアップを支援
- **ワークライフバランス推進の環境づくり**

①若者の自己実現への支援

- ・ 少人数教育の更なる推進
- ・ いじめ・不登校対策
- ・ ICT活用環境の整備
- ・ PBL（課題解決型学習）の実施
- ・ 社会的自立への支援
- ・ 将来に希望を持てる環境づくり
- ・ 高度な教育を受ける機会の確保
- ・ アンコンシャスバイアスの解消
- ・ 将来の妊娠に備えた健康づくり

- 公立小中学校において**少人数教育を推進**し、きめ細かな質の高い教育環境を実現（教育委員会）
- スクールカウンセラー等を配置し、**児童生徒や保護者等への相談支援**を実施（教育委員会）
- プログラミング等に関する**実践的な学習環境を整備**し、ICT活用人材を育成（教育委員会、DX・情報政策統括官）
- デジタル技術を活用して**地域の課題を解決するPBLの実践の機会**を提供（教育委員会、DX・情報政策統括官）
- **県内中小企業の人材確保と若者の県内定着を促進**するため**奨学金返還を支援**（多様性社会・人材活躍推進局）
- 高校生の**将来の具体的なキャリアビジョン形成**に向けた体験型プログラムの実施（教育委員会）
- 産業技術短期大学校等に在籍する低所得世帯の学生への**就学支援金の給付**（多様性社会・人材活躍推進局）
- 若年層を対象に、**男女共同参画の意識を定着**させるため啓発活動を実施（多様性社会・人材活躍推進局）
- **子どもを望む誰もが安心して妊娠・出産ができるようにプレコンセプションケアを推進**（子育て支援局）

②自分らしく働ける、魅力ある職場環境の整備

- ・ 産業の安定した発展への支援
- ・ 生産性向上に伴う就労環境の改善
- ・ 成長段階のスタートアップ企業への支援
- ・ 働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上
- ・ デジタルの恩恵を誰もが受けられる社会の実現
- ・ 非正規雇用の正規雇用化に向けた取組
- ・ 働き方改革の推進
- ・ ワークライフバランス推進の環境づくり
- ・ 女性の希望に添ったキャリア形成への支援
- ・ 労働環境改善に向けた関係者との協議

- 県内企業の**収益拡大**を図るため、**医療機器関連産業における受託製造の機会拡大**を支援（産業政策部）
- **働き手のリスクリング**講座を一気通貫で提供するプラットフォームの設置・運営（多様性社会・人材活躍推進局）
- **県内企業とスタートアップをマッチング**し、**新事業展開や課題解決の取り組みを伴走支援**（産業政策部）
- セミナーや広報を活用した**スリーアップの推進**（多様性社会・人材活躍推進局）
- **DX人材育成エコシステムとDXリテラシー向上**による**地域内発型DX**の推進（DX・情報政策推進統括官）
- 非正規雇用が多い女性のデジタル人材育成や就労支援の在り方を検証（多様性社会・人材活躍推進局）
- 「**働き方改革アドバイザー**」を派遣し、企業の高付加価値化に向けた取組を支援（多様性社会・人材活躍推進局）
- 「**働き方**」を見直す機運を醸成し、**企業の行動変容に繋げるアンケート調査の実施**（人口減少危機対策本部事務局）
- **女性管理職を増やす**ため、意識形成や実践的経験と能力向上を支援（多様性社会・人材活躍推進局）
- **妊娠・出産とキャリアの両立**を支援するため、**卵子凍結保存等に要する費用への助成**（子育て支援局）
- 「山梨えるみん」認定制度により、**女性が活躍しやすい職場環境の整備**（多様性社会・人材活躍推進局）
- **企業版マニフェスト**作成による企業等の取り組みの見える化（人口減少危機対策本部事務局）

③結婚の希望を叶える支援の充実

- ・ 未婚化・晩婚化に対する取組

- **ライフデザイン**をサポートするため**官民連携によるライフプラン相談窓口等の設置**（人口減少危機対策本部事務局）
- 民間結婚相談所や市町村、民間企業、結婚支援ボランティアと連携し、結婚を希望する若者を支援（子育て支援局）

④安心して子どもを妊娠・出産できる環境の整備

- ・ 母子への切れ目のない支援
- ・ 妊娠・出産に関する経済的負担の軽減
- ・ 産科・小児科等医療体制の強化
- ・ 良質で安価な住環境の整備

- 「産前産後ケアセンター」において、**宿泊型産後ケア**や24時間電話相談等を実施（子育て支援局）
- 不妊治療（先進医療）への助成、**出産・子育て応援給付金**（子育て支援局）
- **周産期母子医療センター、小児初期救急医療センター**の運営支援（福祉保健部）
- **ライフスタイル**に合わせた中古住宅等の活用促進や**理想の住まい**を選びを支援（県土整備部）

⑤子育て負担軽減への多面的支援

- ・ 子育てに関する経済的負担の軽減
- ・ 学童保育（放課後児童クラブ）の充実
- ・ 子どもの貧困対策・ひとり親家庭への支援
- ・ 教育・保育サービスの充実と質の向上
- ・ 子育てで離職した女性の再就職支援
- ・ 国際保育の体制整備
- ・ 「介護待機者ゼロ」社会の推進
- ・ 「新たな待機児童ゼロ」推進
- ・ 男性の主体的な家事・育児参加

- **多子世帯に係る私立高等学校等の授業料の実質無償化**（県民生活部）
- **生活困窮世帯の自立支援策の強化**を図るため、生活困窮者への支援を実施（福祉保健部）
- 仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成を目的に**放課後児童クラブ等の支援**（子育て支援局）
- **生活保護世帯や生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援**を実施（子育て支援局）
- **病児・病後児保育の推進**及びその家族を支援する体制を整備（子育て支援局）
- **医療的ケア児者及びその家族を包括的に支援**する体制を整備（福祉保健部）
- 「やまなし・しごと・プラザ」における子育て中の**求職者の支援**（多様性社会・人材活躍推進局）
- 保育所等の**多言語・多文化共生への体制整備**（子育て支援局）
- 地域の介護ニーズに対応するため、**介護待機者ゼロ社会実現**に向けた施設整備支援（福祉保健部）
- やまなし保育士・保育所支援センターによる**保育人材と保育現場をつなぐ取り組みの強化**（子育て支援局）
- **男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくり**に取り組む中小企業者等を支援（多様性社会・人材活躍推進局）

山梨県 人口減少危機対策パッケージ（暫定プラン）

参考

～それぞれのライフステージにおいて、切れ目のない支援を実現～

※これはあくまでも暫定プランであり、今後多くの方から御意見をいただきブラッシュアップに努め、より良き「政策パッケージ」に近づけていきます。



多様な学びの機会の提供

- 少人数教育の更なる推進
- いじめ・不登校対策
- ICT活用環境の整備
- PBL（課題解決型学習）の実施
- 学童保育（放課後児童クラブ）の充実
- 子どもの貧困対策・ひとり親家庭への支援
 - ・生活困窮世帯への進学支援
 - ・家庭環境の違いにより生じる体験格差の解消
- ヤングケアラーへの支援

子育て負担軽減への多面的支援

- 子育てに関する経済的負担の軽減
 - ・子どもの医療費無料化の促進
 - ・給食費無償化を実施する市町村への支援検討
- 教育・保育サービスの充実と質の向上
 - ・保育料無償化の拡大
 - ・保育士の加配、働き方改革
- 子育てで離職した女性の再就職支援
 - ・保育所等への入所認定の柔軟な運用
 - ・県の託児所機能の拡充に向けた検討
- 出産後の精神的・身体的負担を軽減するためのレスパイトケアの推進
- 国際保育の実現に向けた取組



取組の方向性

安心できる生活基盤の整備

- 子育て世代に対する経済的支援
 - ・奨学金・住宅ローン等の負担軽減に向けた検討
- 良質で安価な住環境整備
- 「介護待機者ゼロ社会」の実現
- 全ての業種において安定した雇用対策
 - ・産業の安定した発展への支援
- 生産性向上に伴う就労環境の改善
 - ・社会人・求職者に対するリスキリングの機会提供

キャリアと子育ての両立

- 男性の主体的な家事・育児参加
 - ・育児取得や柔軟な勤務シフトにより最低3ヶ月子どもに寄り添う期間を確保
- 働き方改革の推進
 - ・長時間労働の改善、年休の取得促進
- 性差・社会的役割に対するアンコンシャスバイアスの解消
- 希望する時期に希望する保育所に入所できる「新たな姿の待機児童ゼロ」の推進

関係者との連携

- 人口減少対策の取組を行う市町村への支援
- 当事者目線による政策立案の仕組みを創設
- 労働環境改善に向けた関係者との協議
 - ・県民意見をくみ上げる仕組みの検討
- 人口減少対策関係施策の効果検証
 - ・県庁若手職員による専門部会の発足

安心して子どもを妊娠・出産できる環境の整備

- 母子への切れ目のない支援
 - ・妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援
 - ・産前産後ケアの推進
 - ・一時預かり等の利用促進
- 産前産後休暇・育児休業制度改革の国への働きかけ
 - ・フリーランスを含む自営業者などへの制度適用（育児取得・給付金受給）
- 妊娠・出産に関する経済的負担の軽減
 - ・妊婦健診・出産・不妊治療費（先進医療）への助成
- 産科・小児科等医療体制の強化
 - ・周産期医療体制・小児救急医療体制の充実
 - ・医療従事者の育成・働き方改革
 - ・先天性代謝異常検査体制の拡充

若者の自己実現への支援

- 社会的自立への支援
 - ・将来の具体的なキャリアビジョンを描くためのライフプラン形成支援
 - ・希望に沿った就労支援
- 将来に希望を持てる環境づくり
 - ・キャリア教育の充実等による自己肯定感の向上
 - ・社会に触れる機会の創出
- 高度な教育を受ける機会の確保
 - ・技術系人材育成機関設置に向けた検討



自分らしく働ける、魅力ある職場環境の整備

- ワークライフバランス推進の環境づくり
- 子育てを経験した男女の希望に応じたキャリア形成の実現
- スタートアップ企業への成長段階における伴走支援
- 働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上（スリーアップの促進）
 - ・学びを賃金アップに繋げる仕組みづくり
- 非正規雇用の正規雇用化に向けた取組

結婚の希望を叶える支援の充実

- 未婚化・晩婚化に対する取組
 - ・結婚や妊娠・出産などに関するライフデザインの若年層への啓発（民間人材の活用）
 - ・出会いの機会創出（拡充）

